

新型コロナウイルス感染症： 金融経済情勢と日本銀行の対応

— 内外情勢調査会におけるWeb Live講演 —

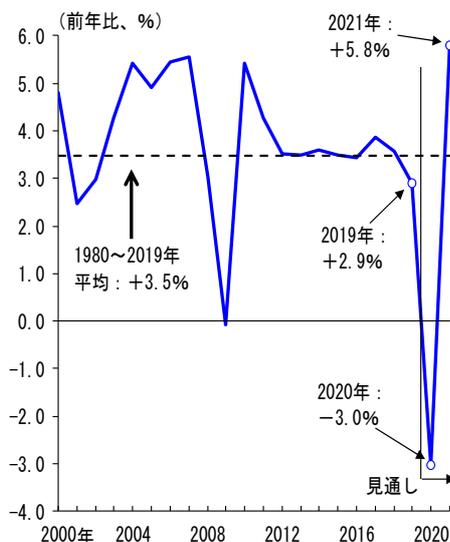
2020年5月14日

日本銀行総裁
黒田 東彦

図表 1

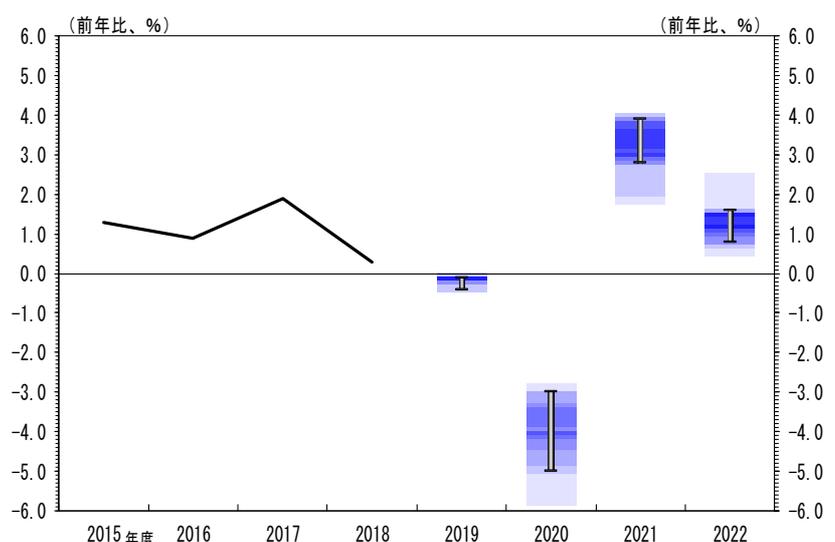
経済見通し

世界（IMF、2020年4月）



(注) 見通しは、標準シナリオの値。
(出所) IMF

日本（展望レポート、2020年4月）



(注) 実線は実績値。シャドーは、当該値（0.1%ポイント刻み）が何人の政策委員の見通し値（レンジ）に含まれているかを、以下の分類で示したもの。縦線は政策委員の「大勢見通し」を表す。「大勢見通し」は、9名の政策委員の見通し値（上限値・下限値）のうち上から2個、下から2個、計4個の値を除いて、幅で示したものである（政策委員が単一の値で見通しを作成した場合には、当該値を2個と数える）。

0人	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

(出所) 日本銀行

金融緩和の強化（3/16日、4/27日）

金融機関や企業等の資金調達の円滑確保のための措置

CP・社債等買入れの増額等（2020年9月末まで）

- ・買入れ上限額を従来の約5兆円から約20兆円に増額したほか、発行体毎の買入限度を大幅に緩和。

新型コロナ対応金融支援特別オペの導入・拡充（2020年9月末まで）

- ・金融機関に対し、民間債務を担保に金利ゼロ%の資金供給を行うとともに、利用残高相当額の当座預金に+0.1%を付利。
- ・対象先は、中小企業向け貸出の割合が高い系統会員金融機関などにも拡大。

新たな資金供給手段の検討（早急に検討）

- ・中小企業等の資金繰りをさらに支援するため、政府の緊急経済対策等における資金繰り支援制度も踏まえて検討。

金融市場の安定維持のための措置

米ドル資金供給オペの拡充（当面）

- ・6中銀による協調行動として、金利引き下げ、期間長期化、オペ頻度増加を実施。20兆円以上のドル資金を供給。

ETF・J-REITの積極的な買入れ＜既往の2倍ペース＞（当面）

- ・ETFは上限年間約12兆円ペース、J-REITは上限年間約1,800億円ペースで買入れ。

国債のさらなる積極的な買入れ

- ・債券市場の安定を維持し、イールドカーブ全体を低位で安定させるため、当面、長短国債をさらに積極的に買入れ。
- ・10年物国債金利がゼロ%程度で推移するよう、上限を設けず必要な金額の長期国債を買入れ。